

令和6年度下半期 瑞穂町下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和6年度の汚水処理の状況は下半期の処理水量が1,775,846m³、年間有収水量は3,557,896m³（前年度比0.5%減）となりました。

収益的収入の主な収入である下水道使用料の調定額は下半期が220,573千円、決算額は443,991千円（前年度比0.9%減）となりました。また、一般会計からの負担金（雨水処理負担金と汚水処理負担金）は下半期が95,523千円、決算額は295,523千円（前年度比30.4%増）となりました。

収益的支出の主な支出として、業務費の多摩川上流流域下水道維持管理負担金は下半期が125,867千円、決算額は162,968千円（前年度比5.6%増）、減価償却費は下半期に全額執行し、決算額は647,874千円（前年度比0.2%増）、支払利息及び企業債取扱諸費は下半期が14,613千円、決算額は29,587千円（前年度比3.9%増）となりました。

資本的収入の主な収入として、企業債は下半期に全額執行し、決算額は658,200千円（前年度比114.9%増）となりました。

資本的支出の主な支出として、管渠整備費の長岡1号幹線布設工事業務の下半期が1,771,538千円、決算額は1,774,253千円（前年度比155.7%増）、企業債償還金は下半期が63,572千円、決算額は126,559千円（前年度比8.3%減）となりました。

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
営業収益	507,945	504,656	99.4%	営業費用	1,181,666	1,132,373	95.8%
下水道使用料	447,269	443,991	99.3%	管渠費	205,618	175,979	85.6%
他会計負担金	60,490	60,490	100.0%	ポンプ場費	39,140	36,932	94.4%
その他営業収益	186	175	94.1%	業務費	199,765	182,837	91.5%
営業外収益	780,992	785,733	100.6%	総係費	89,268	88,751	99.4%
受取利息及び配当金	60	242	403.3%	減価償却費	647,875	647,874	100.0%
他会計負担金	235,033	235,033	100.0%	営業外費用	29,896	29,587	99.0%
補助金	15,643	15,643	100.0%	支払利息及び企業債取扱諸費	29,896	29,587	99.0%
長期前受金戻入	472,886	472,889	100.0%	予備費	5,000	0	0.0%
消費税及び地方消費税還付金	57,370	60,568	105.6%	予備費	5,000	0	0.0%
雑収益	0	1,358	—				
合計	1,288,937	1,290,389	100.1%	合計	1,216,562	1,161,960	95.5%

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
企業債	663,900	658,200	99.1%	建設改良費	1,902,562	1,886,252	99.1%
企業債	663,900	658,200	99.1%	管渠整備費	1,862,801	1,846,492	99.1%
他会計出資金	8,636	8,636	100.0%	多摩川上流流域下水道建設負担金	31,311	31,311	100.0%
他会計出資金	8,636	8,636	100.0%	多摩川上流流域下水道改良負担金	8,450	8,449	100.0%
補助金	1,140,777	1,140,777	100.0%	企業債償還金	126,560	126,559	100.0%
国庫補助金	760,518	760,518	100.0%	企業債償還金	126,560	126,559	100.0%
都補助金	380,259	380,259	100.0%				
負担金	1,685	1,685	100.0%				
受益者負担金	544	544	100.0%				
国庫負担金	1,141	1,141	100.0%				
合計	1,814,998	1,809,298	99.7%	合計	2,029,122	2,012,811	99.2%

令和7年度 瑞穂町下水道事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和7年度	令和6年度	比較	区分	令和7年度	令和6年度	比較
営業収益	544,184	507,945	36,239	営業費用	1,240,657	1,208,935	31,722
下水道使用料	447,662	447,269	393	管渠費	217,675	225,618	△ 7,943
他会計負担金	96,211	60,490	35,721	ポンプ場費	33,390	37,025	△ 3,635
その他営業収益	311	186	125	業務費	207,269	200,706	6,563
営業外収益	880,066	801,646	78,420	総係費	133,130	98,859	34,271
受取利息及び配当金	60	2	58	減価償却費	649,193	646,727	2,466
他会計負担金	265,019	245,033	19,986	営業外費用	49,484	29,896	19,588
補助金	15,365	15,375	△ 10	支払利息及び企業債取扱諸費	49,484	29,896	19,588
長期前受金戻入	475,509	470,850	4,659	予備費	5,000	5,000	0
消費税及び地方消費税還付金	124,113	70,386	53,727	予備費	5,000	5,000	0
合計	1,424,250	1,309,591	114,659	合計	1,295,141	1,243,831	51,310

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和7年度	令和6年度	比較	区分	令和7年度	令和6年度	比較
企業債	1,467,700	708,100	759,600	建設改良費	1,815,357	1,929,064	△ 113,707
企業債	1,467,700	708,100	759,600	管渠整備費	1,774,019	1,881,703	△ 107,684
他会計出資金	10,721	8,636	2,085	多摩川上流流域下水道建設負担金	29,783	36,898	△ 7,115
他会計出資金	10,721	8,636	2,085	多摩川上流流域下水道改良負担金	11,555	10,463	1,092
補助金	312,154	1,140,777	△ 828,623	企業債償還金	125,744	126,560	△ 816
国庫補助金	208,103	760,518	△ 552,415	企業債償還金	125,744	126,560	△ 816
都補助金	104,051	380,259	△ 276,208				
負担金	1,152	1,173	△ 21				
受益者負担金	335	167	168				
国庫負担金	817	1,006	△ 189				
合計	1,791,727	1,858,686	△ 66,959	合計	1,941,101	2,055,624	△ 114,523

2 事業の経営方針

瑞穂町は、昭和49年度から下水道事業に着手し、令和6年度末時点で下水道普及率は、98.2%となっています。しかし、未普及地域への下水道整備、浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性など新たな課題に直面しています。このような中、将来にわたり安定的に公共下水道サービスを提供していくため、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、複式簿記・発生主義に基づく公営企業会計方式による経理を開始しました。

このことにより、経営の健全化、効率化を図りながら、さらなる経営基盤の強化を目指します。

令和7年度予算における取組は、下水道施設の維持管理（収益的収支）として、①ストックマネジメント（管路調査等）、総合地震計画（3期）設計委託、浸入水詳細調査を行います。②管渠内清掃を行うとともに、異常箇所等の補修を行います。③駒形汚水中継ポンプ場のポンプの運転管理、施設設備等の点検を行います。④下水道プラン（経営戦略）改定業務、下水道使用料改定支援業務を行います。

また、下水道施設整備（資本的収支）として、①衛生的で快適な生活環境を図るため、汚水管渠布設工事を行います。②安全安心な住民生活の実現に向けた雨水対策のため、継続事業として行ってきた長岡1号幹線布設工事（令和4年度から令和7年度まで）が完了する予定です。

引き続き、下水道事業の財源として、下水道使用料、補助金、下水道事業受益者負担金、企業債等の確保に努めた経営を行うとともに、下水道プラン（経営戦略）の改定案のとりまとめを行い、公営企業会計に基づく健全な下水道経営を推進し、より一層の行政サービスの向上に努めます。